

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

雨の時期はナメクジ類の増加に注意！

ナメクジ類



葉では直径約1cmの不規則な穴が、果実では直径5mm・深さ1mm程度の穴が開き、商品価値がなくなる。幼苗が食害されると生育遅延や枯死することがある。食害痕はヨトウ類と類似するが、穴の上や周辺に銀色の粘着物が付着し、穴の周辺がカギ裂き状に不規則に食害されることなどで区別できる。



発生時期	春・秋(年間1~2世代) 4~6月に産卵、40日ほどで孵化し、秋までに成体になる ※種類によって異なる
生育適温	15~30℃ それ以上の高温は徐々に死亡する 低温には強く、0~10℃以下でもすぐには死亡しない
生息場所	日中は圃場の資材やマルチの下に潜伏し、夜間活動する。 冬季は休眠するが、施設内は冬季も活動する。

潜伏場所となるような
ゴミや資材は除去し、
土壌表面を乾燥させる
ことがおすすめです！



⚠ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ ⚠

IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数
3	うどんこ病・すすかび病	トリフミン水和剤	○	○	3000~5000倍 (すすかび病:3000倍)	前日	5回
5	コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類 ハモグリバエ類・オオハダコガ	ダブルシューターSE	-	-	1000倍	前日	2回
7	うどんこ病・褐色斑点病・褐色円星病 菌核病・すすかび病・灰色かび病	アフェットフロアブル	○	-	2000倍	前日	3回
25B	ハダニ類	ダニコングフロアブル	-	-	3000倍	前日	1回
M01	軟腐病・斑点細菌病・べと病 ナメクジ類	兼商クプロシールド※	○	-	1000~2000倍 (ナメクジ類:1000倍)	発病前~ 発病初期	-
4A	アブラムシ類・カメムシ類・コナジラミ類 ミナミイロアザミウマ	ベストガード水溶剤	-	-	1000~2000倍	前日	3回
52	うどんこ病・褐紋病・菌核病 灰色かび病	ミギワ10フロアブル	○	-	1000倍	前日	3回
6	コナジラミ類・アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック	-	-	500~1000倍	前日	3回

※野菜類登録

酷暑に打ち克つ

ヒートインパクト

暑さに負けない“強さ”を引き出す

- ◆ 果菜類や結球野菜の肥大不足対策
- ◆ 高温による苗の徒長防止
- ◆ 光合成機能の低下による収量減対策

環境ストレスに強い
Impact フォーミュラ



果菜類・葉菜類使用例
1000倍 100ml/10a
本葉展開後~収穫前
2~3回 葉面散布



毎月1日掲載
各作物をチェック！

